

6月6日は、メロンの日だそうです。

しかし、産地によって旬の時期が違うこともあって、産地の市町で6月6日だったり、7月6日だったり、毎月6日だったりしているようで、多くの市町は6月6日だそうです。

6日なのは、6と言う数字がメロンの形に似ているからだとか！

お店に並んでいるメロンは完熟の少し前である事が多く、そのメロンを美味しくいただくには、常温で保存しておき「追熟」させるのが良いそうです。

冷蔵庫に入れてしまうと「追熟」が止まってしまうそうです。

食べ頃の見分け方としては、メロンの香りが強くなってきたときや、メロンの底部が柔らかくなってきたら食べ頃のサインだそうです！

もし、食べきれない場合はワタと種を取り除き、カットしてできるだけ空気に触れない方法で冷蔵保存しておくの良いそうです！

たまには、ちょっと高価なメロンで贅沢してみてもいいのではないでしょうか？！

それでは機構メールマガジン『新技術情報』第458号をお届けします。

業務に、Tea Breakにどうぞご活用ください。

◆◆◆トピックス◆◆◆

■インフォメーション

- ・緊急事態宣言発出に関する下水道機構の対応について
- ・技術マニュアル活用講習会を6/24(木)にZoomのウェビナーで開催します！
- ・「下水処理場における電気料金の削減手法に関する共同研究」の共同研究者募集について

■機構の行事予定

- ・第396回技術サロンを6月10日にZoomウェビナーで開催します！

■Tea Break

- ・類語の使い分けは難しい
(40代後半さんからの投稿です)

■ピックアップ！機構情報

- ・第72回下水道新技術セミナー (WEB)
(嫌気性MBR法とアナモックス法を用いた下水と下水汚泥処理の高効率化研究)
- ・第73回下水道新技術セミナー (WEB)
(下水道管路の包括的民間委託導入について)

■はしわたし

- ・今回は5月1日付と6月1日付の人事異動による新職員の紹介です！

■国からの情報

- ・6/7付下水道ホットインフォメーション

。○○。
インフォメーション（最新の話題です）
。○○。

●緊急事態宣言発出に関する下水道機構の対応について

緊急事態宣言延長に伴い6月1日から6月20日までの間、下水道機構では原則在宅勤務となります。

つきましては、電話連絡等で連絡がつきづらくなる事が予想されますので、下水道機構ホームページなどを参考にして、お急ぎでない場合はメールでご連絡ください。

●技術マニュアル活用講習会を6/24(木)にZoomのウェビナーで開催します！

民間企業と共同で研究した新技術を紹介するため、技術マニュアル活用講習会を開催しています。新技術を採用する上で、その内容をより深くご理解いただき、有効に活用しやすいよう、講習会に参加する皆様に技術マニュアル等を配布し、研究担当者がパワーポイント画面により図・表を多用して分かりやすく説明しています。多数の皆さまのご参加をお待ちしております。

対象技術資料等：

「下水道施設の耐水化計画および対策立案に関する手引き」

「改築・更新における省エネ機器の適切な導入のための計画・設計に関する技術資料」

「下水処理場のエネルギー自立化ケーススタディに関する技術資料」

【日 時】令和3年6月24日（木） 13：30～16：30

【場 所】Zoom ウェビナー

【参加費】無料

【定 員】500名

※先着順となります。

※詳細及び参加申し込みはこちらから

<https://www.jiwet.or.jp/manual-seminar2021>

●「下水処理場における電気料金の削減手法に関する共同研究」の共同研究者募集について

「下水処理場における電気料金の削減手法に関する共同研究」の共同研究者募集を開始しました。

募集締め切りは令和3年6月30日（水）正午です。

※詳細はこちら

<https://www.jiwet.or.jp/2021-05-24-collaboration1>

。○○。
機構の行事予定
。○○。

●第396回技術サロンを開催します！

日 時：令和3年6月10日(木) 16:00～17:00

場 所：Zoom ウェビナー

講演者：日本下水道事業団

事業統括部事業課 課長 山本 哲雄氏

関東・北陸総合事務所 施工管理課 主幹 森弘 吉祥氏

テーマ：長野県千曲川流域下水道下流処理区終末処理場（クリーンピア千曲）災害復旧

支援について

※詳細及び参加申し込みはこちら
<https://www.jiwet.or.jp/salon396>

。○○。

Tea Break (機構職員の感じるまま)

。○○。

●類語の使い分けは難しい

(40代後半さんからの投稿です)

IT、ICT、IoTの意味をなんとなくしか理解していないうちに、最近はRPA、AI、DXなど、様々な情報用語が使われるようになってきました。私には、これらの類語を使い分けて会話することは難しいので、せめて文章で表現する際は、ある程度理解して使いたいと思い、色々なサイトを検索して繋ぎ、整理してみました。

○IT (Information Technology)

コンピューターや情報処理、通信に関する総称のこと。

○ICT (Information and Communication Technology)

ITにコミュニケーションという単語が足されているもので、通信技術を活用したコミュニケーションのこと。国際的にはICTという言葉が広まっており、日本で言うITの意味合いも含めてICTと呼ばれており、ITに代わってICTが広まりつつある。

○IoT (Internet of Things)

身の回りのあらゆるモノがインターネットにつながる仕組みのこと。ICTという大きなくりにIoTという概念が入っている。

○AI (Artificial Intelligence)

日本語では「人工知能」と言われるもので、AIは考えて答えを出すだけでなく、学習することで進化していくことが特徴。

○RPA (Robotic Process Automation)

ロボットによる業務自動化とそれを担うソフト群のことで、「仮想的労働者」と呼ばれている。RPAは人間が作ったルールに従い、AIはシステム自身が分析・学習する。

○DX (Digital Transformation)

AIやIoTなどのデジタル技術を使い、人々の生活をより良く変化させることで、企業においては、デジタル技術を活用して、業務そのものや、組織、プロセス、企業文化・風土を変革し、競争上の優位性を確立すること。AIなどはDXの目的を進めるための手段となる。

調べてみた雑感ですが、「IT」と「ICT」の使い分けが一番難しいと感じました。これからは、会話のなかで少しでもこれらの類語の使い分けができるよう意識したいと思いつつ、私としては、困った時は「ICT」を使っておこうとも思いました。

。○○。

ピックアップ！機構情報
(下水道機構情報 Vol. 16 No. 32 2021.1 冬季号の中から記事をご紹介します)

。○○。

●第72回下水道新技術セミナー (WEB)

(嫌気性 MBR 法とアナモックス法を用いた下水と下水汚泥処理の高効率化研究)

省エネルギー、創エネルギー、CO2 削減が叫ばれている現在、下水や汚泥処理技術は低炭素対応に向けて発想を転換する必要があります。ここでは嫌気性処理の特徴と東北大学の取り組み歴史を総説した上で、(1)嫌気性 MBR の開発と応用研究例、(2)アナモックス応用プロセスの研究開発について紹介しました

続きはこちら

→ <https://www.jiwet.or.jp/2021-06-07-quarterly1>

●第 73 回下水道新技術セミナー (WEB)

(下水道管路の包括的民間委託導入について)

下水道の普及とともに、下水処理人口普及率も増加しており、現在は浄化槽等も含めた汚水処理人口普及率は9割を超えています。

一方で、下水道事業を取り巻く「ヒト」、「モノ」、「カネ」の問題が顕在化しており、下水道部署の職員数はピーク時の約6割まで減少しています。また、布設後50年を経過する管きょは今後急増してく見込みであり、さらに、供用開始から15年を経過した処理場も8割を超えています。多くの処理場で機械・電気設備の更新が必要となっているだけでなく、今後は人口減少等に伴う使用料収入の減少も懸念されています。

続きはこちら

→ <https://www.jiwet.or.jp/2021-06-07-quarterly2>

下水道機構情報 Vol. 16 No. 32 2021.1 (最新刊)

<https://www.jiwet.or.jp/quarterly32>

WEB 版機関誌下水道機構情報 Plus+ 19号 (最新刊) はこちら

<https://www.jiwet.or.jp/newsletter19>

下水道機構情報はこちら

<https://www.jiwet.or.jp/quarterly0>

ニューズレターはこちらから

<https://www.jiwet.or.jp/newsletter0>

審査証明技術全体はこちら

<https://www.jiwet.or.jp/examination0>

。 。 。

はしわたし (みなさまの情報交流の場です)

。 。 。

●今回は5月1日付と6月1日付の人事異動による新職員の紹介です！

→ <https://www.jiwet.or.jp/hashiwatashi2021-06-07>

＼(^-^)/皆さまからの情報提供をお待ちしております(^-^)/

提供はこちらまで→ jiwet@jiwet.or.jp

※テキストは原則400字以内。写真等はA4版にして原則2ページ以内。

なお、お寄せいただいた情報はそのまま掲載することを基本としますが、掲載の可否は機構にて判断させていただきます。

。 。 。

国からの情報

。 。 。

↓ここからは、国からの下水道ホットインフォメーションを掲載しています。

下水道ホットインフォメーション（2021. 6. 7 の情報です）

配信元：国土交通省 水管理・国土保全局 下水道部下水道事業課

企画専門官 山縣弘樹

今週は、大阪市さん、松戸市さんから、マンホール蓋デザインについての記事をいただいています。地域の顔としてマンホール蓋を活用する取組が増えてきています。皆様もぜひデザイン投票にご参加いただければと思います。

★★★★★ 今週のヘッドライン ☆☆☆☆☆

- 6/2 成長戦略会議（成長戦略案について）
- 下水道事業 125 周年記念マンホールふたの twitter 投票について（大阪市）
- 「コアラとユーカリ」マンホールのリニューアルコンテストを開催します！（松戸市）
- 第 396 回技術サロンを開催します。（（公財）日本下水道新技術機構）
- 令和 3 年度 技術マニュアル活用講習会を 6/24(木)に Zoom のウェビナーで開催します！（（公財）日本下水道新技術機構）

-
-
- 6/2 成長戦略会議（成長戦略案について）

6 月 2 日に、成長戦略会議（議長：内閣官房長官）が開催され、成長戦略案が報告されています。

（会議資料等）

<https://www.cas.go.jp/jp/seisaku/seicho/seichosenryakukaigi/dai11/index.html>

●成長戦略フォローアップ案

<https://www.cas.go.jp/jp/seisaku/seicho/seichosenryakukaigi/dai11/siryou1-2-1.pdf>

※下水道関係の記載

2. グリーン分野の成長

(1) 2050 年カーボンニュートラルに伴うグリーン成長戦略

iii) 分野別の課題と対応

- ・下水道での脱炭素化実現を後押しするため、省エネリノベーション、下水熱、下水道バイオマスエネルギー及び下水道由来水素に関する技術開発の加速化と導入促進を 2025 年度まで集中的に取り組む。

(5) 循環経済への移行とビジネス主導の国際展開・国際協力、その他

- ・下水道における創エネ・省エネ化や施設管理の高度化・効率化を目指し、2021 年度にデータ利活用の基盤となる共通プラットフォーム構築に向けた実証等や、ICT・AI による広域管理・運転支援技術の実証を行う。
- ・下水道への使用済み紙オムツ受入のための 2022 年度のガイドライン策定に向けて、2021 年度に福祉施設における紙オムツ処理装置の導入効果を評価する

実証の実施及び適正使用方策等の検討を進める。

12. 重要分野における取組

(5) PPP/PFI の推進強化

- ・ 公共施設等運営事業（コンセッション）重点分野（空港、上下水道、（以下略））の数値目標達成に向けた取組を推進する。
- ・ 上下水道事業の案件各々の経営状況やサービスレベル、持続可能性を横並びで比較するベンチマーキングの仕組みについて、諸外国における制度についての調査結果も踏まえ、我が国における導入の可否を検討する。

●グリーン成長戦略案

<https://www.cas.go.jp/jp/seisaku/seicho/seichosenryakukaigi/dai11/siryou2-2.pdf>

（下水道の記載内容は成長戦略フォローアップ案のグリーン部分とほぼ同じ）

○ 下水道事業 125 周年記念マンホールふたの twitter 投票について （大阪市）

大阪市建設局では、下水道事業 125 周年記念マンホールふたデザインの一般公募を実施し、309 作品の中から優秀作品を 4 点選出しました。

現在、優秀 4 作品の中から最優秀作品を選出するための twitter 投票

（https://twitter.com/gesuidou_osaka）を実施しています。

PC やスマホから参加できますので多くの投票をお待ちしています。

最優秀作品は、夜に LED で発光する「光るマンホール」（関西初！）を作成し、大阪市中央区の「β本町橋」（<https://hommachibashi.jp/>）（本夏 OPEN）に設置予定です。締め切りは 6 月 9 日の昼 12 時まで。

関連サイト

●大阪市建設局下水道部 (@gesuidou_osaka)

●大阪市：報道発表資料 「大阪市下水道事業 125 周年記念マンホールふたデザイン」

最優秀作品を決定するための投票を開始します

<https://www.city.osaka.lg.jp/kensetsu/page/0000536995.html>

○ 「コアラとユーカリ」マンホールのリニューアルコンテストを開催します！ （松戸市）

松戸市では 6 月 15 日より『コアラとユーカリ』マンホールのリニューアルコンテストを開催いたします。

松戸市の姉妹都市であるホワイトホース市をイメージしてデザインされた既存の「コアラとユーカリ」柄を、姉妹都市交流 50 周年をきっかけとしてリニューアルするためにコンテストを実施するものです。

コンテストで最優秀作品となったデザインは、カラー版は市内設置後、マンホールカードの申請やグッズ販売等を行い、

モノクロ版は松戸市の新たなデザインマンホールとして使用していく予定です。

松戸市として初の試みとなるイベントでございます。ご高覧いただき、奮ってご参加ください。

（松戸市報道発表資料）

https://www.city.matsudo.chiba.jp/kurashi/jyougesuidou/gesuidou/manhole_contest.html

○ 第 396 回技術サロンを開催します。（(公財) 日本下水道新技術機構）

(公財)日本下水道新技術機構では、地方公共団体・民間企業等広く多くの下水道事業関係者を対象に、下水道に係わる最近の話題や新技術に関する交流の場として、月に1回(8月を除く)「技術サロン」を開催しております。

今回は、『長野県千曲川流域下水道下流処理区終末処理場(クリーンピア千曲)災害復旧支援について』をテーマに開催いたします。

インターネット環境があれば、どこからでも参加出来ますので多数の皆様のご参加をお待ちしております。

日 時：令和3年6月10日(木) 16:00~17:00

場 所：Zoom ウェビナー

講演者：日本下水道事業団

事業統括部事業課 課長 山本 哲雄氏

関東・北陸総合事務所 施工管理課 主幹 森弘 吉祥氏

テーマ：長野県千曲川流域下水道下流処理区終末処理場(クリーンピア千曲)災害復旧支援について

※詳細及び参加申し込みはこちら

<https://www.jiwet.or.jp/salon396>

○ 令和3年度 技術マニュアル活用講習会を

6/24(木)にZoomのウェビナーで開催します！((公財)日本下水道新技術機構)

民間企業と共同で研究した新技術を紹介するため、技術マニュアル活用講習会を開催しています。新技術を採用する上で、その内容をより深くご理解いただき、有効に活用しやすいよう、講習会に参加する皆様に技術マニュアル等を配布し、研究担当者がパワーポイント画面により図・表を多用して分かりやすく説明しています。多数の皆さまのご参加をお待ちしております。

対象技術資料等：

「下水道施設の耐水化計画および対策立案に関する手引き」

「改築・更新における省エネ機器の適切な導入のための計画・設計に関する技術資料」

「下水処理場のエネルギー自立化ケーススタディに関する技術資料」

【日 時】令和3年6月24日(木) 13:30~16:30

【場 所】Zoom ウェビナー

【参加費】無料

【定 員】500名

※先着順となります。

※詳細及び参加申し込みはこちらから

<https://www.jiwet.or.jp/manual-seminar2021>

【参考情報】

◆ 瀬戸内海の栄養不足に対応 改正特措法が成立 <6/3 時事通信>

<https://news.yahoo.co.jp/articles/87102086d4125a82e759e600f738fb4417ce0bd8>

◆ 太陽光パネル、公共建築物は原則設置 住宅は義務化せず <6/3 日本経済新聞>

<https://www.nikkei.com/article/DGXZQ0UA022QHOS1A600C200000/>

- ◆ 住宅：脱炭素社会に向けた住宅・建築物の省エネ対策等のあり方検討会
〈6/3 国土交通省〉
https://www.mlit.go.jp/jutakukentiku/house/jutakukentiku_house_tk4_000188.html

- ◆ 島津製作所と塩野義製薬、下水 PCR 検査で提携 〈6/2 日本経済新聞〉
<https://www.nikkei.com/article/DGXZQ0UF023WSOS1A600C2000000/>

- ◆ メタンガスで発電へ「し尿の前処理施設」起工 バイオマス産業都市構想
【佐賀市】〈6/3 佐賀ニュース サガテレビ〉
<https://news.yahoo.co.jp/articles/151131991507c50e233a7179505fa8891bb7e042>

- ◆ 浸水被害に備え「内水ハザードマップ」福岡市が公開
〈6/1 九州朝日放送〉
<https://news.yahoo.co.jp/articles/27b56c41409e0f522a00c0888d4f768435f3196e>

- ◆ 道路の真ん中にマンホール設置なぜ？ 鉄製だから雨天時に滑る？
別にある意外な理由 〈6/3 くるまのニュース〉
<https://news.yahoo.co.jp/articles/ecd96b0c2025fd3559f76a8dd7e8a80cf93cc7c1>

- ◆ 道の駅に“デザインマンホール、お目見え 〈6/1 山陰放送〉
<https://news.yahoo.co.jp/articles/f868812918833d72c606f97b36613f804f9f7733>

- ◆ <ツイセキ！>広がる「デザインマンホールのふた」〈5/31 TOKYO FM〉
<https://news.yahoo.co.jp/articles/15faa0f3c52d59206d9d41aaa59cb3799ce76da9>

- ◆ 浸水被害軽減へ 田んぼダム協定 〈6/3 とちテレ〉
<https://news.yahoo.co.jp/articles/c890e80a4d01ef4384b1d505a849dfb65fe34b27>

- ◆ 大雨による「避難情報」が発令されたら…どうすればいい？
5月に改正された「避難情報」をチェック！〈5/31 TOKYO FM〉
<https://news.yahoo.co.jp/articles/21bb8bd578327c1609918f117e7eac69c4bcaed4>

- ◆ 加藤裕之氏「コンセプト下水道」刊行 〈公共投資ジャーナル社〉
<https://www.kt-j.jp/panfu-concept.pdf>
※ビストロ下水道を発案するなど下水道界のアイデアマン加藤裕之氏の
週刊下水道情報での人気対談をまとめた新著です。

- ◆ 【寄稿】水事業にはイノベーションとリーダーシップが必要だ
東京大学：加藤裕之氏 〈Web ジャーナル Mizu Design〉
<https://mizudesignjournal.com/opinion/2671.html>

- ◆ 水インフラを支える研究・活動など助成先8件を選定
日水コン水インフラ財団が設立初の助成 〈Web ジャーナル Mizu Design〉
<https://mizudesignjournal.com/topics/2683.html>

- ◆ アフターコロナのインフラ点検は「無人化」がスタンダードに
NJS などドローンサービスを手掛ける新会社「FINDi」設立
〈Web ジャーナル Mizu Design〉
<https://mizudesignjournal.com/topics/2676.html>

=====

発行元：公益財団法人 日本下水道新技術機構 企画部

〒162-0811 東京都新宿区水道町3番1号 水道町ビル7F

TEL 03-5228-6511(代表) FAX 03-5228-6512

ホームページ：<https://www.jiwet.or.jp/>

○お伝えたい情報をお持ちの方はこちらから → jiwet@jiwet.or.jp

○メルマガ配信登録についてのお問い合わせはこちらから

→ jiwet@jiwet.or.jp

○メルマガ配信停止はこちらから

→ <https://www.jiwet.or.jp/member-mag-unsubscribe>

○ニューズレターはこちらから

→ <https://www.jiwet.or.jp/newsletter0>

○はしわたしのバックナンバーはこちらから

→ <https://www.jiwet.or.jp/hashiwatashi>

○ゆいまーるのバックナンバーはこちらから

→ <https://www.jiwet.or.jp/publicity/yuimaru>